※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　学校設定教科　地域連携

教科	地域連携	科目	（学）シナジー生野	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・校地内の農園を活用した農業活動を通じて、地域の様々な世代の人たちと交流をします。そのなかで、身の回りの環境に対する関心を高め、他者とかかわりながら主体的に問題解決に向けて取り組む姿勢を養います。
・地域の支援学校と交流及び共同学習を行います。もしくは、地域の介護施設、老人ホーム等と交流し、福祉を学びます。そのような活動を通じて人権意識や倫理観を高めます。
・コリアタウンフィールドワーク等を通じて地域の歴史を学び、多文化共生・異文化理解を進めます。
・地域の企業と交流し、職場を見学や、実際に働いている人の話を聞くことを通じて勤労観や職業観を醸成します。

２　学習の到達目標

a　地域との交流活動の中で様々な人とコミュニケーションをとることができる。また、地域資源を利用した体験活動を通じて様々な知識や技能が身についている。
b　地域との交流活動の中で、地域に貢献する意識が身についている。様々な体験活動を通じて、社会人として必要となる思考力・判断力・表現力が身についている。
C　様々な体験活動や交流、共同学習などに主体的、積極的に取り組む姿勢が身についている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地域との交流や共同学習、または体験活動を通じて多様な文化・社会を理解し、様々な知識や技術を身につける。 ・コミュニケーションスキルを向上させる。	・体験活動や交流の中で課題を発見し、解決のための方法を考えることができる。 ・体験活動や交流、共同学習で学んだ事をアウトプットすることができる。 ・地域との交流を通じて自分なりの勤労観・職業観について考えることができる。 ・地域との交流を通じて社会人としての必要な人権意識を向上させる。	・体験活動や交流、共同学習などに主体的、積極的に取り組むことができる。 ・交流や共同学習において、様々な人々を積極的に理解しようとする姿勢で取り組むことができる。 ・交流や共同学習において、他者から学ぶ意欲を見てとることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期後期共通	農業体験と環境教育	・校内の農場において、畝づくりから収穫に至るまでの一連の農作業を体験する。 ・環境教育に関する各種アクティブラーニングや体験学習を経験する。	a:基本的な農業技術を習得している。体験学習の学び方を習得している。 b:農業を通じて思考することができる。アクティブラーニングや体験活動において自ら考えて行動し、自分の意見を表現できる。 c:学習に自ら進んで取り組める	活動記録 技能観察 ワークシート	取組態度 活動記録 ワークシート 発表	取組態度 活動記録
	障がい者理解と福祉	・地域の支援学校や老人ホーム等との交流	a: 相手の事を考えたコミュニケーションをとることができる。ノーマライゼーションの概念について理解し考えることができる。 b: 体験活動や交流の中で社会の課題を発見し、解決のための方法を考えることができる。また、学んだ事、考えた事をアウトプットすることができる。 c: 交流、共同学習に主体的、積極的に取り組むことができる。	活動記録 技能観察 課題研究 発表 レポート ワークシート	活動記録 課題研究 発表 レポート ワークシート	取組態度 活動記録 課題研究 発表 レポート ワークシート
前期後期共通	異文化理解と多文化共生	・地域の歴史を学ぶ ・コリアタウンフィールドワーク	a: 地域の歴史を理解し、多文化共生・異文化理解について考えることができる。 b: 地域の歴史について、学んだ事、考えた事をアウトプットすることができる。また、交流の中で、興味のあることや疑問点を自分なりにまとめ、質問するなどし、課題解決に向かうことができる。 c: 体験活動に主体的、積極的に取り組むことができる。	活動記録 技能観察 課題研究 発表 レポート ワークシート	活動記録 課題研究 発表 レポート ワークシート	取組態度 活動記録 課題研究 発表 レポート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	キャリア教育	・地域のとの交流（見学、仕事体験、講演等）	a：学ぶことや働くことの意義が理解できる。また、交流した職種の仕事の概要について理解している。 b：交流を通じて自分なりの勤労観・職業観について考えることができる。また、興味のあることや疑問点を自分なりにまとめ、質問するなどし、課題解決に向かうことができる。 c：体験活動や交流に主体的、積極的に取り組むことができる。	活動記録 技能観察 課題研究 発表 レポート ワーク シート	活動記録 課題研究 発表 レポート ワーク シート	取組態度 活動記録 課題研究 発表 レポート ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度